

(共生社会・地域活性化に関する調査会)

共生社会・地域活性化に関する調査報告(中間報告) 要旨

本調査会は、共生社会・地域活性化に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第百七十六回国会の平成二十二年十一月に設置された。

本調査会は、「地域活力の向上と共生社会の実現」を調査テーマとし、調査の二年目は、「活力ある共生・共助の地域社会・まちづくり―被災地の復興に向けて―」を調査事項として取り上げることとした。

参考人からの意見聴取及び政府に対する質疑並びに委員間の意見交換等を通じて調査を進めてきた結果、「活力ある共生・共助の地域社会・まちづくり―被災地の復興に向けて―」についての提言」を含めた調査報告書(中間報告)を取りまとめ、五月二十三日、議長に提出した。

本調査会として取りまとめた提言の主な内容は、次のとおりである。

一 被災地の再生・復興

- 1 東日本大震災の被災者の安定的な雇用の確保、孤立の防止、心のケア等の被災者の生活支援
- 2 被災者が主役の復興のための仕事づくり、就業のきっかけづくり、独創的な発想による地域おこし等

## の支援

- 3 復興計画の実施過程におけるコミュニティベースの合意形成、女性、若者等のまちづくりへの参加
- 4 医療、介護、福祉サービスの従事者の確保、避難所、仮設住宅等の高齢者、障害者等への配慮等による被災者の孤立防止、共生型福祉への配慮
- 5 きめ細かい心のケア、学習環境の整備等による被災した子どもに対する支援
- 6 原子力発電所事故による被災者への支援のための早期除染、地方自治体・医療関係者等の要員確保等

## 二 共生・共助の支え合い・連携

- 1 「困ったときはお互いさま」の互惠社会の構築、地域のつながり・支え合いによる被災地の復興
- 2 地域住民・コミュニティのきずなの意識を高め、地域を再生するための自治会、町内会等の強化、全国  
の自主防災組織の整備・強化
- 3 NPO、ボランティア等の活動強化、国・地方自治体におけるその知見の活用による復興の推進
- 4 連携の中核となる人材の育成、組織の充実

## 三 地域の再生・復興を担う人づくり

1 被災地の将来の地域の担い手の育成と人々がふるさとに戻れる環境づくり、年齢、性別、環境等にかかわらず多様な力を発揮するしなやかな社会づくり

2 女性の就業、起業等の支援、各種地域活動あるいは地域の意思決定への女性の参画の推進

3 他人を思いやる心、愛郷心を育成する地域を担う次世代の教育

4 高齢者の知恵・技術の活用、若者への指導・伝承

5 社会包摂、地域活性化の視点を踏まえた障害者、高齢者の社会参加の基盤整備

#### 四 地域のつながりをいかしたまちづくり

1 高台移転等におけるまちへの愛情、創意工夫をいかした地域住民による自主自立のまちづくり

2 暮らしやすい安心・安全なまちづくり、多世代共生型住宅、ユニバーサルデザインによる共生の取組

3 商店街再生、地域資源を活用した取組、再生可能エネルギー産業の推進等の地域の再生、持続的な発展のための産業づくり

4 地域間の連携、がれきの広域処理、観光業等振興のための国の正確、積極的な情報発信による原子力

発電所事故の風評被害の払拭